

新居浜市防災会議（第一回）

議事録

1. 日 時 平成24年9月6日木曜日 10:00～11:20
2. 場 所 市庁舎5階大会議室
3. 出席者 新居浜市防災会議会長 新居浜市長 佐々木 龍
新居浜市防災会議委員24名
新居浜市防災会議委員代理3名

事務局（防災安全課）前田課長
神野副課長
高橋係長
木村係長
眞木主事

傍聴者 7名

4. 議事

開会あいさつ

【市長】

地域防災計画は災害対策基本法に基づき修正を行っていくもので、今回は、昨年の大地震や先日発表された南海トラフ巨大地震への備え等、新たに追加・修正を行った内容を中心に議論していただきたい。また、本日の内容を基として、今年度末をめどに最終案をまとめていくので、積極的な意見や提言をいただきたい。

（1）新居浜市地域防災計画の修正について

～質疑応答～

①総則について

なし

②地震災害対策編について

【新居浜市女性連合協議会代表】

女性の視点を取り入れた防災体制の確立について、本日の防災会議への参加もその取組みの1つと考えていいのか。

【市長】

女性連合や婦人防火クラブの代表の方に防災会議へ出席していただいているのも、取組みの1つになる。

【新居浜市女性連合協議会代表】

避難所の設置の際、女性専用の物干し場や更衣室を設けるとあるが、設置場所などの具体的な計画については避難所設置の担当の方が決めていくのか。

【防災安全課長】

東日本大震災では、避難所での女性や高齢者等への配慮が十分ではなかった。こうした教訓を踏まえ、市の職員や各自主防災組織に、避難所内で話し合い更衣室などのスペースを作っていくという考え方について、徹底していきたいと考えている。

【市長】

特に長期的な避難については避難所運営の考え方を示していく必要があり、役所内での行動計画や基準も作っていききたい。

【市民部長】

実際の避難所では、すべての場合に更衣等専用の部屋を用意できるとは限らない。そういった事態にも対応できるよう、例えば仮設トイレ用のテントをあらかじめ用意しておくなどの工夫をしていきたいと考えている。

③津波災害対策編について

【新居浜市ボランティア連絡協議会代表】

情報システムについて、戸籍や住民基本台帳などのデータの保管についてはしっかりと行われているのか。また、停電時の自動発電システムについてもしっかりとできているのか。

【市民部長】

戸籍や住民基本台帳については既に県外の別の場所に保管している。他のデータについても順次進めていきたいと考えている。

非常時の発電装置については庁舎等に既に設置している。今後は、非常用発電設備の容量や、それをまかなうための燃料について検証していき、必要に応じて発電機や燃料タンクの増設を行っていききたい。

④風水害等対策編について

なし

⑤全体を通して

【新居浜市ボランティア連絡協議会代表】

食料の備蓄については十分な量を確保しているのか。また、被災地のボランティアでは仕事のあてがい等がなかなかうまくいっていなかったが、そういった計画についてはしっかりと定められているのか。

【防災安全課長】

水や乾パン、ご飯については備蓄している。しかし、大規模な災害の場合には数量にやや不安があるので、現在県と妥当な量について検討を行っている。

ボランティアの受け入れ態勢については今回の計画内にも記述しているとおり、特に留意して計画を作成している。

【新居浜市婦人防火クラブ運営協議会代表】

最近多いゲリラ豪雨について、マンホールのふたが浮き上がっている光景をよく見かけるが、そういったものへの対応をしていただけないか。

【環境部長】

マンホールの浮上防止については、浸水区域を中心に留めがついたものへの交換を行っている。水路の改修については、要望も多数あり整備を進めているが、難しい場所もあるので土のうを設置する等の自己防衛もしていただきたい。

【市長】

新居浜市地域防災計画の修正素案については、本日の内容やパブリックコメント等を経て、県の防災計画との整合性についても検討をしながら、平成25年3月に予定している防災会議で最終決定を予定している。

また質問等があれば、事務局の防災安全課へ連絡していただき、計画への反映・返答といった対応をさせていただく。

以上